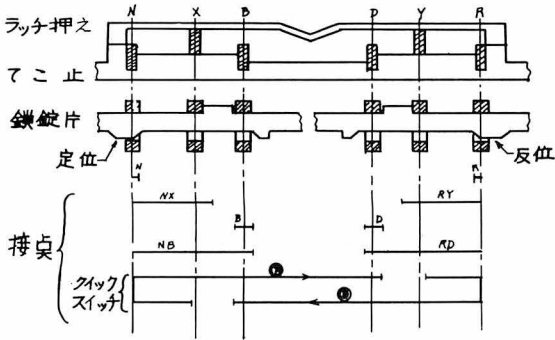


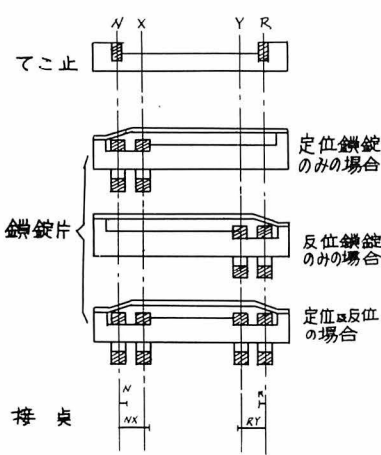
9. 転てつてこ



たは定位鎖錠用とし、下部のを表示鎖錠または反位鎖錠用に使っている。(図-7)

(6) てこ止、鎖錠片および回路制御器の関係でこのあらゆる位置の機械および電気鎖錠部の連鎖は、常に相互関係を有しているが、とくにこの転換中の各位置のうち、

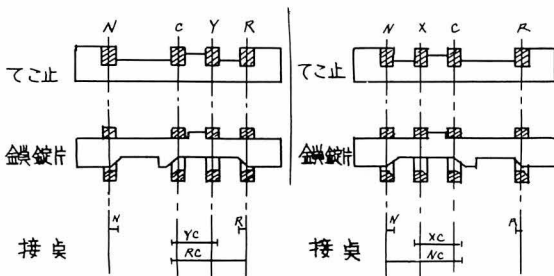
10. 照査てこ



11. 方向てこ

甲(定位で列車を受ける方)

乙(定位で列車を出す方)



ほかのてこの連鎖関係の始点および終点となる位置については、特別に一定記号を付し、その位置におけるてこ止、鎖錠片および回路制御器等の関連を仕様書に規格しており、また調整は常に厳重な検査をしている。

図-8は、てこがてこ止の連鎖関係のある特定の位置(LBX……R)にあるとき、鎖錠片と鎖錠子の関係位置およびそのとき回路制御器の構成される接点等の関連を示したものである。てこの位置の記号(LBX……R等)は信号結線図のシンボル(記号文字)。(竹内 整)

てんきれんどうそうち 電気連動装置 (英) electric interlocking 第1種および第2種に大別されるが、一般には第1種すなわちすべての信号機、入換標識、転轍(てんてつ)器等を電氣的に操作するものを指す。

第1種電気連動装置とは、信号機、入換標識、転轍器等の電氣てこを集中して、これらのでこ相互間の連鎖を機械的に行う機構すなわち電気連動機を使用し、信号機、入換標識、転轍器等を電氣的に操作するものをいい、第2種電気連動装置とは、転轍てこに電気鎖錠器を掛け、信号機、入換標識等と転轍器との連鎖を電氣的に行うものをいう。

1 第1種電気連動装置

全電氣(またはオール電氣)ともいい、列車または車両の運転が特にひん繁で、機械式によっては操作の困難な停車場に設備される。信号扱所には電気連動機、照明軌道盤等を設備し、これによってすべての操作を行う。

信号扱所内またはその付近に継電器室を掛け、軌道継電器、転轍表示継電器その他の継電器類を收容し、これらによって信号現示を制御し、轍鎖鎖錠、進路鎖錠、接近鎖錠、閉路鎖錠等の電氣鎖錠を行う。

2 第2種電気連動装置

この装置のほとんどは信号機、入換標識等を卓上電氣てこによって電氣的に操作するものであって、列車または車両の運転がひん繁でない停車場で、自動閉そく区間、連動閉そく区間等にある場合または特に信号機等に電氣式を使用する必要がある場合に設備される。またこの装置は軌道回路を有することが必要条件でないため、保安度に大きな差のあるものがあるので、軌道回路によって信号現示を制御する程度(連続・一部・無し)によって甲・乙・丙に区別する。

卓上電氣てこは駅長室、運転掛室等に設備し、その付近に軌道継電器その他の継電器類を集中し、それぞれの程度に応じて信号現示を制御し、進路鎖錠、接近鎖錠等の電氣鎖錠を行う。

(尾松広一)

てんくうしきじどうていしゃき 電氣空式自動停車機

わが国の地下鉄で使用している自動列車停止装置は全部打子式で、この打子(トリップ・アーム)を上下させるのに圧搾空気をを使用した方式を電氣空式自動停車機という。図-1はその装置を示す。信号現示は赤・黄・緑の順で後方の赤の位置でトリップ・アームが垂直に立つような機構にしてある。すなわち信号現示はオーバーラップ方式を使用しているが、その理由は赤・黄・緑とすれ

1. 電氣空式自動列車停止装置取付図

